

第2章 東武日光線（日光～東武動物公園）

第1節 東武日光～板荷

東武日光(10:19)～上今市～下今市(12:00)～明神(15:30)～
下小代(16:40)～板荷(17:53)

第149回目のウォーキングは、2005年6月25日（土）、場所を東武日光線に移して行なう。昨日は、高校時代の先輩と赤坂見附で情報交換を行なう。その前日も研修会の後飲む機会があり、やや疲れていた。それで、どのコースにするかを決めるだけの余力がなかった。すべては起きてからの状況にすることにした。6時前に目が覚めたので、早速どのコースにするかを考えた。本日のコースにするか、それとも京急線の続きにするか。それとも御殿場線にするか。首都圏ダイヤを見て色々検討した結果、当初の予定通り、東武日光線に挑戦することにした。日光線にするにしても、東武日光駅にするか新栃木駅にするか迷ったが、思い切って東武日光駅からの挑戦にすることにした。

本日踏破する駅をメモ帳に転記する時間がなかったので、またダイヤの研究する時間がなかったので、ダイヤを携帯することにする。自宅を6時半頃出る。本日のアクセスは代々木上原まで小田急、それから千代田線に乗り換え北千住へ。そこから東武で日光まで移動の計画。8時20分の快速を考えていたが、急遽気持ちが変わり8時40分の「けごん5号」で行くことにする。親切にも東武鉄道の乗務員さんにより特急券（乗車券を含め2,720円）を買って頂く。一度、宇都宮駅まで指定席で移動した経験がある。それ以来である。3号車の特急指定席に乗り込む。窓際の席であった。運良く隣は空席であった。途中、9時3分春日部、9時37分栃木、9時53分新鹿沼、10時9分下今市に止まり、終点東武日光駅には10時19分到着。



※けごん5号、東武日光駅



※JR 日光駅、日光杉並木街道

東武日光駅前には華厳の滝をモデルにした噴水があった。駅前には沢山の観光客がいた。5分位歩いた先にJR日光駅があった。この駅前は観光客の姿はなかった。左を東武日光線、右手にはJR日光線が日光杉並木街道に沿って続く。10時45分、志渡沢川（筋違橋）通過。この近郊で日光行きの2両編成のJR電車と対面する。東武日光線は複線であった。途中杉並木街道が外れ、国道119号に出る。11時15分、野口石橋のバス停があった。そこから少しいった先に日光柳営博物館（日光歴史学習資料館）があった。再度杉並木街道に入る。



※上今市駅

11時45分、杉並木公園に入る。藁葺屋根の食堂があった。東武鉄道に沿って公園は広がっていた。直径10m、幅80cmの大水車を鑑賞する。看板によると、その昔、京都に直径15mの水車が、また、中近東のシリアに直径20mの揚水水車があったと記載されていた。水車は日本の水車と世界の水車があった。カメラに収めようとしたが、今朝予備フィルムを携帯するのを忘れて断念する。残されたフィルムは2場面しか撮れず、上今市駅と下今市駅用にフィルムを温存しておく必要があった。下今市駅まで行けばコンビニでAPSフィルムを購入できると読んでいた。水車がシンボルである下今市駅を12時踏破。ここで上りの特急電車が通過する。予定通り、下今市駅から行き過ぎた先にフジフィルムがあったので購入する。300m位引き換えし、下今市駅に12時30

分到着。駅前の光来軒でラーメンを食べる。



※杉並木公園

昼食後、思わぬ事態に巻き込まれる。国道 119 号を行き過ぎ、東武日光線から大きく外れる。空が明るいにもかかわらず、雷がごろごろなる。大雨の前兆であった。途中ローソンがあり、何となく道に迷ったのではないかと思い、ローソンにいた客に聞く。少し行った先を右に曲がれば、鹿沼方面に出られるとのことであった。朝、特急電車の窓から、新鹿沼辺りから山間が続き、東武鉄道に沿った道がなく、相当難しいと思いながら景色を眺めていた。それで、すべての駅のクリアは困難と安易に考えていた。この安易な考えが、道に迷う引き金になった。

鉄道つたい歩きの基本を忘れていた。後で地図を確認したところ、間違ふべきにに間違い。そのようなことで、質問の仕方を誤った。本来であれば、鹿沼ではなく明神（みょうじん）と聞くべきであった。特に、下今市駅から明神駅にかけ主たる道路が窓から見えなかったのも臆病になったひとつであった。日光宇都宮道路を頭上にした辺りで完全に、自分がとんでもない方向に来ていることにきづく。辺りで通行人に聞こうとしたが、人影見当たらず。500m位引き換えし、葬祭準備していた人に聞く。ここでも質問が悪く、東武鉄道への復帰ではなく、鹿沼への道と聞いてしまった。それ故、今市方面に引き返すコースではなく、再度日光宇都宮道路を越えて、第一の信号を右折して、直進した先にあるとのことだった。

信号を右折した辺りで、再度鹿沼方面を聞く。「鹿沼まで遠いですよ。」と驚いた回答があった。「直進して突き当たりに、左折鹿沼、右折今市の道路に出ますよ。」10分位歩いた先にご指摘していただいた道路に出る。直進すれば、国道 121 号にでるとの道路標識があった。交差する道路の先（30m）にJR日光線の踏切があった。200m位行った先に下野大沢駅があった。JR日光線と東武日光線が鹿沼辺りまでほぼ平行して走っているという知識がなかった。この不勉強が今日の一番の敗因である。JR線を越えて辺りで、東武鉄道へのリカバリーを聞く。この道を真っ直ぐ行った先に、明神駅があ

るとのことであった。辺りが急に暗くなり、雨が落ちてくる。それから数分後、大雨に出くわす。木の下で雨宿りするが、雨が激しくなり、斜めから雨が吹き込んでくる。これではまずいと思い、少し小雨になったのを見て移動する。しかし、また雨が強くなる。右に民家が見えたので、右折して民家に駆け込み、明神駅の方角を聞く。



※下今市駅、明神駅

この民家で 20 分位雨宿りをさしてもらおう。少し小降りになったところで、親切にもご主人に明神駅まで車で送って頂く。これまでのウォーキングで最大のピンチを助けて頂く。昨年の日立以来である。小雨のときパトカーが通り過ぎている際、善処すべきであったかも知れない。6.1Kmに 3 時間費やしたことになる。あの時も道に迷い困っていたのを助けて頂いた。明神駅には、15 時 30 分前に着く。少しの差で、新栃木駅行きの電車に乗り遅れる。次の電車まで 58 分もあった。外は雨で、今新栃木方面から来た 70 歳位の年配の方も生憎傘を持ち合わせいなかった。それで、雨宿りという共通項を通じ何となく心が打ち解け、この年配の方と世間話をする機会を得る。この人の出身は横浜の子供の国の近くとのことである。今日は用事で明神駅まで来たとのことであった。私のウォーキング話には、興味があったのか話はずんだ。30 分位の雨宿りがあつという間に過ぎた。

16 時雨も上がったので、迷った挙句、2.8Km先の下小代、更に 3.6Km先の板荷(いたが)迄目指すことにする。明神駅から坂を下った 200m位先に太い道路があり、その道を直進し、突き当たりを左折した先に下小代駅があった。気分が動転していたので、宇都宮道路辺りで愛用の 4 色ボールペンを落とす。そのため、記録ができず。コンビニを探したがなし。駅前に意見欄のノートを記録用のボールペンがあり、このボールペンを借りて、明神駅や下小代駅(16 時 40 分)到着等の記録をメモ帳に書く。

下小代駅前でも板荷駅への道を数人に聞いて臨む。川を渡った先が今市市から鹿沼市となった。山道を越えて、板荷駅を目指す。途中、板荷中学校の看板から右折する。これが大正解である。真っ直ぐ進むととんでもない方向に行くところであった。中学校の

校庭の先に農道が、東武日光線に平行して続いていた。1Km続く農道の突き当たりを右におれ、少し行き左折し再度直進し、踏み切りを渡り、500m位行った先に待望の板荷駅（17時53分）があった。途中、電信柱に「宇賀神」という名称があったのでカメラに収める。板荷駅は二つのコブシの山を背景にしてあった。駅前のお店の奥さんと話す機会があり、本日のウォーキング談について語る。「今市からの歩きは聞いたことはあるが、日光からの歩きは初めて。」とのことであった。次の電車は、18時34分である。この駅には、駅員が2名いた。北千住への一番アクセスの早い方法を聞く。

一番早い方法は、新鹿沼駅で特急に乗るのが一番早いとのことであったが、コストのことを考えて、新栃木駅から準急で北千住まで行くことにする。次の電車まで、下り各停電車、上下の快速電車がそれぞれ1台ずつ通過する。18時34分の電車は、新栃木駅で折り返し会津高原行き各駅電車（2両）となる。新栃木、19時7分の準急で自宅を目指す。自宅には22時25分到着。本日は、大雨、迷い、観光と対面でき距離の割には充実した一日を送ることができた。おまけに巨人が阪神に8対6で競り勝つ。本日の営業距離は19.6Km、万歩計は59,684歩であった。本日で、日光線踏破の見通しがたった。



下小代駅

板荷駅

第2節 板荷～新栃木

板荷(10:23)～北鹿沼～新鹿沼(12:37)～縦山（もみやま、13:40）～楡木(14:20)～東武金崎(15:35)～家中(16:50)～合戦場(17:35)～新栃木(18:10)～栃木(19:03)

日光線の続きは、2005年7月17日（日）実施。朝5時起床。曇り空のため、新聞・テレビの本日の天気を確認。曇り空で何とかもちそうであった。今日は前回の大雨でウォークマンが故障のため、音楽なしで臨むことになった。ただし、時々携帯ラジオで音楽等は聴いたが。南林間6時20分の電車で千代田線北千住駅に向かう。北千住駅で

東武鉄道に乗り換え、8時3分発の準急新栃木行きに乗る。新栃木駅で9時53分発東武日光駅（2両編成）に乗る。新栃木駅から本日のコースを観察。一番の難所は東武金崎駅（かねさき）と楡木駅（にれぎ）の間を流れる思川であった。この下流は両毛線の時き渡った。川は橋が鉄道から離れた箇所にあることもあり、対応に骨が折れることがある。この川もそのケースである。後は比較的簡単そうに見えるコースであった。板荷駅には10時23分到着。窓口で精算を済ませて30Kmの挑戦が始まる。



※北鹿沼駅



※新鹿沼駅、縦山駅

本日は概ね鉄道に沿って道路が続き、北鹿沼駅を除く駅を写真に収めることができた。鉄道の右を主として歩く。県道164号を通り、黒川（見野橋）を11時22分通過。この橋は朝鉄道から見えたので見印として覚えていた。北鹿沼駅も山の形を覚えていたのにも関わらず、不覚にも見逃す。千手山公園の前を12時通過。雄山寺を12時14分。この寺で行き止まりとなり、北鹿沼駅への引き返しは丘越えが伴い、本日の距離を勘案し止むを得ず断念する。少し前で鉄道に近づくべきであった。新鹿沼駅には12時37分到着。特急電車停車駅にもかかわらず、駅前には閑散としていた。この駅から500m位行った先にJR鹿沼駅があった。駅前のきそば（美庵）で一服する。この店は民家を改良して作ったのであろう。エアコンはなく窓を四方八方開けていた。70歳位の年配の先客

が2名おり酒盛りをしていた。この店を出た辺りでお湿り程度の小雨に遭う。しかし、傘を使わないうちに止む。本日は、うす曇でウォーキングとしては最高の日であった。今年初めて蝉の声を耳にする。北鹿沼駅の失敗を教訓に、新鹿沼駅以降は鉄道に近づき歩く。山を背景とする樅山（もみやま）駅には13時40分到着。この駅ももう少しで見逃すところだった。鉄道の右側を着実に歩き、楡木駅には14時20分到着。電車の窓から障害物と感じた思川の小倉橋を15時15分通過。鉄道は螺旋状になり、私が歩いている道路に近づいて来る。東武金崎駅には15時35分到着。



※楡木駅、東武金崎駅

この駅は新鹿沼駅に次いで賑やかであった。林を越えて家中駅には16時50分到着。この駅前にはゆったりした感じであったが、駅舎がなくひっそりしていた。この辺りで小休止したかったが、ベンチがなく先を急ぐ。合戦場駅には17時35分到着。鉄道の両脇に道があったにもかかわらず、鉄道の左側には駅に通ずる階段はなかった。他の駅も概ね同じであった。南栗橋車両管理区新栃木出張所を17時57分通過。その先に、新栃木駅に通ずる宇都宮線が走っていた。丁度100m先を通過する。新栃木駅には18時10分通過。ここで本来ならば上がりにしたかったが、30kmへの挑戦とまだ外が明るいので3km先の栃木駅を目指すことにする。咽の渇きや安堵感による空腹から、ローソン（栃木日ノ出町店）に立ち寄る。ここで栃木駅への道を聞く。「3つ目の信号を左に曲がり真っ直ぐ行くとあります」とのことだった。巴波川、片柳橋を渡り、栃木駅には19時3分到着。駅前には一橋学院と早稲田ゼミの予備校の看板が目についた。この駅は両毛線の栃木駅も合流しており、日光線の中で最も賑やかな駅前であった。トイレで汗だくとなったシャツを着替え、栃木駅19時18分発の準急電車で自宅（北千住経由）に向かう。偶然にも前回に乗った電車と同じとなる。自宅には22時25分着。本日の万歩計は70,468歩だった。本日ペットボトルを7本位消耗。久しぶりに歩いた気分となった。



左上：家中駅 右上：合戦場駅 左下：新栃木駅 右下：栃木駅

第3節 新栃木～柳生

栃木(19:03)～新大平下～静和(11:50)～藤岡(14:25)～
板倉東洋大前(15:40)～柳生(16:25)

栃木駅から続きは、約3ヶ月経過の2005年10月15日(土)挑戦。予報では雨マークもあり挑戦するか否か迷ったが、5時半に起床した際、曇りの可能性が大と判断し、ウォーキングの準備をする。ここのところ長男の挙式や天気等で思うようなウォーキングがお休みだった。そういう意味で本日は、久しぶり営業距離20Kmを超えるコースで心がときめいた。南林間6時29分の電車で北千住に移動。十分位待ち合わせ、8時3分の準急新栃木行きで栃木駅へ。9時36分の到着であった。栃木駅はJR線もあり、大平山県立自然公園の山々が見え、向かう方向を勘違いしそうになった。駅前の人に聞いて方向を確認する。20分位歩くと、栃木市から大平町となる。

栃木南高校入口前に10時5分到着。永野川(10時25分)を越え、新大平下駅には11時到着。この駅手前で小雨となるが、大平下駅を少し行ったところで止む。本日は一日中、小雨と曇りとの繰り返しとなった。途中田園では稲刈機を多く見かける。静和駅には11時50分到着。上下の電車が来る。本日は両毛線踏破の際出会った地名と再会する。栃木、大平下、岩舟という地名。岩舟町静(しずか)の交差点は両毛線つたい歩

きの際通った記憶がある。懐かしくなる。この近郊で頭上にヘリ（12時15分）と出会う。足利方面に向かっていた。岩舟町の外れの「はれるや（喫茶・軽食）」でランチ（12時45分）。中々食堂がなく探していた。林に覆われたところにこの店があった。5～6人の来客がいた。



※栃木駅、新大平下駅

店の名の通り、この店を出るや否や店の名の通り薄日が射し込んで来る。この店から5分位歩くと岩舟町から藤岡町となる。少し行った先で道路の下を鉄道が交差し、左手側から右手側となる。佐野ラーメンの看板のある店から道路を挟んで星宮神社（13時20分）があった。よく聞く東武藤が丘CCの案内（藤岡町大前）が電柱にあった。14時、渡良瀬川を渡る新開橋北通過。県道50号がこの川に沿ってあった。橋を渡ると新開橋南だった。静和駅から7.8Km先の藤岡駅には14時25分到着。駅前の看板には、「万葉の三毳山と谷中湖（渡良瀬貯水池）ふじおか」とあった。



※静和駅、藤岡駅

板倉東洋大前駅には15時40分到着。鉄道の南側OR西側に相当する板倉ニュータウンには住宅の即売場があった。沢山の人が盛りがあった。駅舎は近代的建物だった。駅前には広大な更地が続いていた。一方、道路を挟んで、一戸建て住宅の建築の準備を進めていた。1Km位板倉ニュータウンを散策して、柳生方面に軌道修正。遠回りした関係でもう少しで道に迷いそうになる。これまでの辛い経験を生かし、鉄道に近づく。正解

であった。適当に歩いていたら本当に道に迷うところだった。谷田川を渡る（16時5分）と栃木県から埼玉県となる。北川辺町だった。ここでも県境のためか、橋が粗末であった。歩道がなく、車が怖かった。柳生駅には16時25分到着。この駅でアップする。16時44分の電車で自宅へ。北千住経由で帰宅したため、自宅には19時45分の到着となる。本日の営業距離は21.3Km、万歩計は53,606歩だった。



左上：板倉東洋大前 右上：柳生駅 左下：新古河駅 右下：渡良瀬川土手

第4節 柳生～東武動物公園

柳生(9:20)～新古河(10:05)～栗橋(13:00)～南栗橋(14:30)～幸手(16:10)～杉戸高野台(17:00)～東武動物公園(17:50)

日光線の総仕上げは、2005年11月5日(土)小春日和の中、柳生＝東武動物公園23.6Km間に挑戦する。本日もメモ帳に柳生＝東武動物公園の各駅と営業距離を転記していなかったため、首都圏時刻表を持参する。南林間6時29分、北千住8時3分(準急新栃木行き)発で現地柳生駅に向かう。現地には9時20分頃到着。

乗車時に柳生駅はテレビドラマに出てくる柳生一門との関係を質問したところ、「関係なし」とのことだった。渡良瀬川の土手に沿って歩く。10時5分新古河駅に到着。ここから、6.7Km先の栗橋駅のクリアに175分要する。渡良瀬川と利根川が障害とな

り、直線距離であれば 90 分で行けるところ 2 倍要する。一つには、地図を見て確認して、みつくに橋を渡らず利根川越えをしようとしたことである。この場合、利根川にぶつかったら右に数キロ歩き橋を渡り、再び利根川沿いを歩き東武鉄道に戻る作戦である。利根川まで 2 Km 地点まで歩いていた。この作戦は東武鉄道が渡良瀬川に沿って続いており、つたい歩きとしては望ましい作戦であるのは間違いない。しかし、この作戦は余りにも遠回りにつながり、東武動物公園までの歩きに支障をきたす可能性もあり迷っていた。そこで、土手沿いを歩いていた婦人の方に対面する際聞くことにした。「真っ直ぐ行くと利根川にぶつかり行き止まりになります。みつくに橋を渡り、渡良瀬川沿いを歩いて行けば栗橋に行けますよ。」それで、急遽コース変更する。30 分位時間ロスする。土手から橋桁まで 5 m 位しかないにもかかわらず、上がる橋桁がなく、みつくに橋を渡るためには、渡良瀬川の土手から右に 500m 位歩くことを余儀なくされた。みつくに橋に上がる地点は古河市から再度北川辺町になった。この近郊は茨城県と埼玉県の県境のためややこしい。

みつくに橋を 11 時 5 分通過。渡良瀬川の土手を歩き、利根川橋を目指す。河川敷ではサッカー試合をしていた。こちらの土手は対面の土手に比べ河川敷を利用する施設が多々あった。JR 線を越えると栗橋へ繋がる橋があった。この橋は 3 年半前宇都宮線踏破の際来たことがある。橋手間の風景は記憶にあった。橋は 1 Km 位ある感じであった。行けども行けども橋が続く。橋を渡って少し行くと、国土交通省関東地方整備局の事務所があった。このビルには見覚えがあった。二つ目は、栗橋駅への方向を誤り東武鉄道の右に行こうとしていた。実はこの鉄道を JR 線の思い込んだためである。東武鉄道が登場しないので不思議に思っていた。こんな勘違いで東武鉄道に対面するとは思わなかった。新古河方面である。道路工事の交通整理の方に聞いて助かった。方向を逆方向にしていた。新栃木方面と思ったら浅草行きであった。これと同じ勘違いは、八高線でもあった。やっと、13 時栗橋駅に到達する。実に 175 分経過する。安心したのか、八高線の際購入した埼玉県の地図を落す。



※栗橋駅、南栗橋駅

栗橋駅はJR線と絡み複雑である。東武鉄道の下を通り、左手から右側となる。13時20分、駅前の蛇の目屋（生そば）で天ざる蕎麦を注文する。沢山のお客がいて時間を要したが、蕎麦、天婦羅ともに味はなかなかのものであった。賑わうはずである。



※幸手駅、杉戸高野台駅

30分位休憩し、13時50分南栗橋駅を目指す。途中、新幹線の下を通る。南栗橋駅には東武鉄道の車庫があった。春日部・東武動物公園・竹ノ塚等にもあったような気がするが、この車庫は結構広かった。南栗橋駅は中央林間駅から電車がある。その根拠がわかったような気がする。南栗橋駅には14時30分到着する。

中川を越える行幸（みゆき）橋には15時20分通過。国道4号（日光街道）に出る。中川沿いには桜並木が続いていた。ここでも橋越に遠回りする。幸手駅の手前の本屋で埼玉県の地図を購入する。地図がないと東武動物公園までのクリアが大変であるからだ。幸手駅には16時10分。辺りは日没に近い感じであった。東武動物公園まで5.8Kmである。この調子だとあと90分を要す。踏切を渡り、岩槻方面に進もうとする。東武動物公園の残像が残っていたため、何となくこの道ではないと思い地図を確認する。心配した通り、鉄道から離れる道を歩いていた。

幸手南団地の通りを通り、踏切を越え日光街道に戻る。17時薄暗くなった時間帯に杉戸高野台駅に到着する。本来ならば、ここで打ち止めにすべきところ、東武動物公園駅への道は日光街道沿いにあり、かつ本日で仕上げたい思いから、暗くなった道を歩く。伊勢崎線の経験が生きた。三日月が西の空にあった。日光街道は歩道が広く、店の灯で歩きやすかった。境行きのバスが出てきた地点も右折し、東武動物公園駅に向かう。念のため通行人に聞く。5分位歩いた先にあった。途中、古利根川を越えると東武動物公園駅があった。17時50分到着。18時3分の準急で自宅へ。20時25分到着。本日の万歩計は57,200歩（新古河駅先からのカウント：1483歩から操作ミスでストップ）であった。

本日で、野田線・東上線・伊勢崎線・寄居線・越生線・亀戸線に加え、日光から東武動物公園までの日光線の踏破が終了した。日光線も随所に難所があり面白いコースであった。今市から板荷までの山道、それから新古河駅から栗橋駅の川越、難しい難所を越え充実した気分で一杯である。



※東武動物公園駅